



片柳中学校だより

片柳

第5号 令和7年7月18日発行
さいたま市立片柳中学校
さいたま市見沼区大字御蔵551
TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

未来へつなぐ今の学び、心をつなぐ夏祭り

校長 佐久間 貴宏

本日をもって、1学期が終了となりました。この約4か月間を振り返り、皆さん自身の成長や課題について考えてみましょう。どのような力が身につきましたか？どんなことが難しかったのでしょうか？それぞれが得た成果と課題を、次のステップへの土台として活かしてほしいと思います。また、直近の学校行事を振り返ると、1年生は清水公園での飯盒炊飯とレクリエーション、2年生は未来くるワーク体験、3年生は修学旅行と、それぞれ大きなイベントがありました。楽しい思い出とともに、きっと何かしらの学びがあったことでしょう。

明日から始まる39日間の夏休みは、皆さん自身が生活の流れを決め、どんな経験をするかも自分で選ぶ期間です。まさに「自立した学習者」としての姿勢が求められます。目標を立て、それに向かって努力することで、大きな成長を遂げることができるはずです。充実した夏休みにしてください。

さて、話は変わりますが、片柳地区の夏の風物詩とも言える『天王様の夏祭り』が7月12日（土）に染谷八雲神社にて開催されました。当日は天候にも恵まれ、暑さが和らいだ中での開催となりました。

このお祭りは、長年途絶えていた伝統を地元の方々が復活させ、「子どもたちに地元の祭りを経験させたい」「子ども中心の祭りにしたい」という強い思いから実現したものです。当日は本校生徒約200名をはじめ、片柳小学校の児童、海外からの留学生、本校卒業生など、多くの子どもたちが参加し、大盛況となりました。皆さんは法被を着て参加し、天狗や巫女の衣装を身にまったり、獅子舞や大きなうちわを持ったりと、それぞれの役割を果たしながら、立派な山車を引いて染谷地区を練り歩きました。

途中の公園で食べた氷菓子は格別に美味しく、祭りの最後に振る舞われた食べ物や飲み物も豊富で、笑顔あふれる夏祭りとなりました。この祭りは、片柳の心をつなぎ、将来子どもたちが大人になったときにも「片柳には伝統ある夏祭りがあった」と思い出す、そんな価値ある取り組みだったと思います。

このような地域行事が開催できるのは、伝統文化保存会の皆様をはじめ、八雲神社氏子、自治会、消防団、青少年育成会、おやじの会、公民館、片柳小・中学校のPTAや保護者の皆様など、多くの方々のご尽力のおかげです。事前の準備や安全面の配慮、地域住民への協力依頼など、見えないところでの支えがあってこそ実現できたものです。

生徒の皆さんには、関係者の方々への感謝の気持ちを忘れずに持ち続けてほしいと思います。そして、将来、自分の住む地域に対して「自分にできることは何か」と考えられる人になってほしいと願っています。学びの視点を、自分が住む地域、もっと広く日本や世界に向けていくことも重要であるとも考えます。

最後に、保護者や地域の皆様方に改めて感謝申し上げるとともに、夏休み中の見守りについても、引き続きご協力をよろしく願いいたします。